

## 鶴見川多目的遊水地土壌無害化処理事業の 進ちょく状況について

### 1 異物混入土保管までの経緯

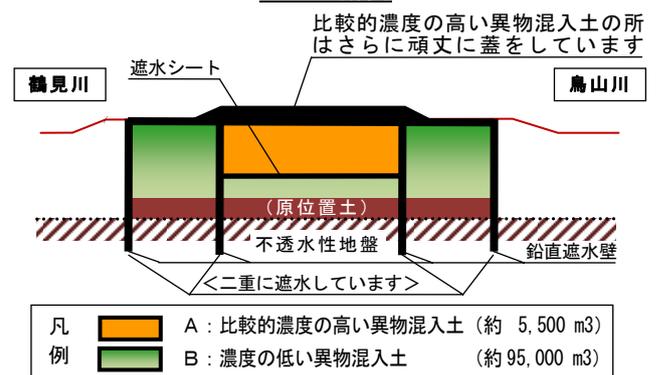
- (1) 港北区小机町、鳥山町地先で国土交通省関東地方整備局により「鶴見川多目的遊水地」（愛称：新横浜ゆめオアシス）の整備が進められています。  
また、道路局では、横浜市のワールドカップ大橋（都市計画道路新横浜元石川線）の整備を進め、平成14年に竣功しています。
- (2) 平成11年これらの工事の過程で、ポリ塩化ビフェニル（PCB）等の有害物質及び異物（木材、プラスチック、がれき等）が混在している土砂「異物混入土」が確認されました。
- (3) 平成14年までに図に示すような汚染拡散防止対策を行い現地に一時保管されています。



A-A'断面

### 2 適正処理の検討

- (1) 平成17年度から関東地方整備局を中心に、異物混入土を適正に処理するための技術検討や確認実験を行い、選定されたジオスチーム工法などについて「鶴見川多目的遊水地無害化処理技術確認実験評価委員会」により安全・確実な処理が可能であることが確認されました。
- (2) 平成19年国土交通省関東地方整備局と横浜市は「鶴見川多目的遊水地土壌無害化処理に関する協定書」を締結し、平成25年3月までに比較的濃度の高い異物混入土約5,500m<sup>3</sup>を対象に本事業を行います。
- (3) 協定に基づく事業費の総額は約17億円、横浜市は約3億2千2百万円を負担します。



### 3 今後のスケジュールについて

- (1) 平成23、24年度の2か年で、現地において無害化処理施設の建設、処理作業、施設の撤去までを完了させる予定です。
- (2) 現在、横浜市環境影響評価条例に基づく手続きを関係部署と調整しながら進めています。

